



衆議院 **新山口2区**

# 平岡秀夫氏

## 立憲民主党公認が**決定**

### 今こそ、「政治の信頼」を取り戻す



立憲民主党は5月30日の常任幹事会において、次期衆議院議員選挙における新たな山口県第2区の公認候補として、元法務大臣で立憲民主党山口県連顧問の平岡秀夫氏を擁立することを決定しました。これを受け、平岡秀夫氏は5月31日に山口県庁記者クラブで記者会見し、「今の自民党政権は国民本位、地域住民本位の政治を行っていない。この政治を変えていきたい。信頼のおける政治を実現していきたい」と出馬への強い決意を語りました。

県庁記者クラブの会見には、県連の小田村克彦代表、酒本哲也幹事長が同席。4月に行われた山口2区補選に無所属で出馬し、今回立憲民主党公認での立候補を決断したことについて平岡氏は「補欠選挙では大きな後ろ盾のない中、一緒に戦ってくれた人たちに感謝したい」と述べ、無所属と公認、それぞれメリット・デメリットがあ

ることを理解したうえで、「やはり国政は政党政治が中心にある。私自身も民主党の国会議員として長くやってきた中、当選してしっかりと力が出せるのは政党人としての政治家だという思いに至った」と説明しました。

### 政策の柱は「外交」「経済」「人権」

重点政策を尋ねられ、平岡氏は「党公認となっても、補欠選挙の時と政策的に訴えることは変わらない」とし、大きな柱として①「外交安全保障政策」②「経済政策」③「人権問題」の3つを挙げ、具体的に日米地位協定や米軍基地、地域経済の振興、原発問題、同性婚・LGBTQなどへの取り組みに意欲を見せました。

一方、立憲民主党は現在、支持率低迷に苦しんでいるが、「党としての政策をしっかりと有権者に伝えていくことが大切。中道・リベラルな政党として国民の支持を得られるよう、私も精一杯努力していきたい」と力を込めました。



立憲民主党公認が決定し、次期衆院選山口2区への出馬を表明した平岡秀夫氏